行政評価による第五次諏訪市総合計画 進行管理
令和3年度 諏訪未来プロジェクト　評価結果　一覧表

諏訪市　企画部　企画政策課

1　重点プロジェクト評価実施趣旨

第五次諏訪市総合計画後期基本計画（平成29年度～令和3年度）において、基本施策を横断的に連携させ施策効果を高めるため、重点的に取り組む政策・施策をパッケージ化し、重点プロジェクトとして位置づけた。重点プロジェクトを着実に推進するため、対象事業の進捗状況及び取り組みの達成状況について評価を行う。

2　SuWaMiRaI　諏訪未来プロジェクトの体系

S:成長　産業成長プロジェクト	「播種」将来の産業を担う人材の育成・確保
	「開花」ものづくり技術を基盤とした産業振興
	「結実」安定した雇用と魅力ある「しごと」創出
W:若者　若者応援プロジェクト	「真心」子どもたち一人ひとりに寄り添った支援
	「技量」「個性と能力」を生かした社会での活躍
	「体験」特色ある教育による「生きる力」向上
M:魅力　魅力発信プロジェクト	「故郷」「みんなのふるさと」発信
	「特別」「諏訪の当たり前」発信
	「惹起」「諏訪って良いさっ」発信
R:連携　地域連携プロジェクト	「支援」地域の「つながり」を生かす
	「長寿」地域での「暮らし」を守る
	「創意」地域の「空き家」を生かす
I:一新　一新再生プロジェクト	「再編」新しい公共施設の「あり方」
	「強化」公共施設の延命と機能強化
	「復活」駅周辺市街地のビジョン検討

3　評価の流れ

各課において令和3年度の取組結果をまとめ、施策を評価する。その後、企画政策課でプロジェクトごとに進捗状況をとりまとめ、行政評価委員会において、評価を決定する。

4 評価結果および進捗状況一覧

（1）横断施策の進捗状況一覧（施策数）

①プロジェクト別目標指標の進捗状況

プロジェクト	100%以上	90%以上	80%以上	50%以上	50%未満	実績値なし	指標数計
産業成長プロジェクト	3				1		
若者応援プロジェクト	2					1	
魅力発信プロジェクト	1			2	1		
地域連携プロジェクト	1	2			1		
一新再生プロジェクト	1	1			1	1	
合計	8	3	0	2	4	2	19

②年度別目標指標の進捗状況

達成度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
100%以上	8	9	11
90%以上	3	3	3
80%以上	0	0	2
50%以上	2	2	2
50%未満	4	3	1
実績値なし	2	2	0

（2）分析と課題

・新型コロナウイルス感染症の影響により、未だ様々な施策において事業の中止や規模縮小、実施方法の変更などが余儀なくされている。

・なかでも、魅力発信プロジェクトにおいては各種イベントの中止等により影響を受けた目標指標№1の生涯学習課主催の講座延べ参加者数が、首都圏等への緊急事態宣言発令などにより№2の観光客入込数が大きな影響を受け、コロナ禍前と比べると、目標値を大きく下回る結果となったものの、生涯学習課においては、講座の開催場所の分散やオンライン講座の開催など、場にこだわらず、文化や芸術に親しむ機会の提供に努めることで昨年度よりも参加数が回復している。

・一新再生プロジェクトにおける道路舗装新設修繕事業や配水管耐震化・更新事業などのインフラ整備に関してはコロナ禍においても着実に事業を進捗させ、舗装修繕工事面積や配水管耐震化率も順調に増加上昇している。

・経済面では、産業成長プロジェクトにおける目標指標№1製造業の従業員数や№3新商品・新サービス創出件数、№4諏訪市の支援を受けた起業・創業件数ではいずれも目標値を上回っていることから、産業分野における各目標指標への新型コロナウイルスの影響は比較的軽微であったということができ、産業成長プロジェクトに関しては、この5年間で順調に成果を上げ、目標を達成してきている。

・魅力発信プロジェクトにおけるふるさと寄附金事業では、体験型の返礼品を拡充することにより、寄附金額が目標額を上回り、シティプロモーション推進事業では市公式Facebookのフォロワー数が大幅に増加し、また新たに市公式LINEアカウントを開設するなど、コロナ禍においても、新たな取組や事業の拡充を行うことでその成果が数字として確実に表れてきている事業もある。

・当面は新型コロナウイルスの影響が継続すると見込まれることから、リモート環境の活用や観光需要の回復時に備えたシティプロモーションの更なる強化などウィズコロナ、さらにはアフターコロナを見据えた事業展開を行っていく必要がある。

令和3年度　SuWaMiRaI 諏訪未来プロジェクト　評価調書

1　**重点プロジェクト概要**

重点プロジェクト	S:成長　産業成長プロジェクト	連携課	地域戦略・男女共同参画課、商工課、観光課、産業連携推進室、農林課、教育総務課	横断する施策	基本施策	基本施策
					基本施策10【学校教育】	
					基本施策22【工業】	
					基本施策23【SUWAブランド】	
					基本施策24【観光】	
目指すまちの姿	諏訪市の特色ある産業である「ものづくり」を中心として、産業振興を強力に推進することで、地域経済の活性化を図り、販路の拡大や新事業・新サービスを創出するとともに、産業基盤の成長を促し、魅力ある雇用創出や多様な人材の活用を目指します。				基本施策25【商業・流通】	
					基本施策27【農業・漁業】	
					基本施策29【雇用・創業】	
					基本施策33【移住交流】	

2　**主な成果**

「人材育成・産業振興・雇用創出」のサイクルにより、
地域経済の好循環と「雇用の質」を兼ね備えた「しごと」を創出

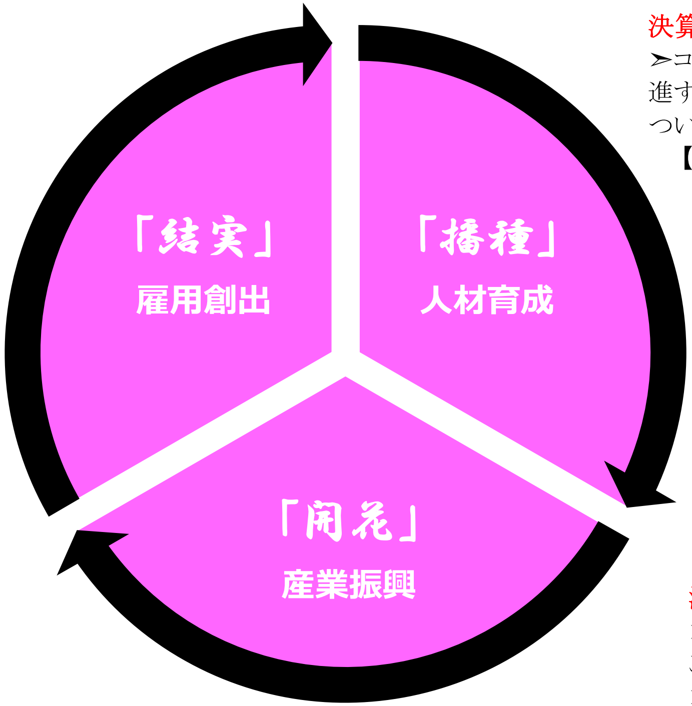
➡ **地域の活力と豊かさの未来への持続**

「結実」店舗リフォーム助成事業
決算額:1,572千円
➢小規模建設事業者や既存事業者への支援のため、既存店舗のリフォームを補助した。
【店舗リフォームに伴う総工事費】9,235千円(R3)

「結実」商工業利子・保証料補給事業
決算額:78,233千円
➢新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業を支援するため、緊急経営借換資金を延長した。
【制度資金利子補給金】15,595千円(R3)

「結実」工場等立地促進助成金
決算額:8,596千円
➢企業の立地促進とそれに伴う雇用増進のため、市内への工場等の新設・移設・増設を支援。
【従業員の雇用実績】52人(R3)

「開花」経営基盤強化事業
決算額:17,725千円
➢自社の技術・製品をPRすることで販路開拓を促進し、工業の振興を図るため、展示会に係る経費の一部を補助した。
(実績　企業数21社　補助金額約800万円)



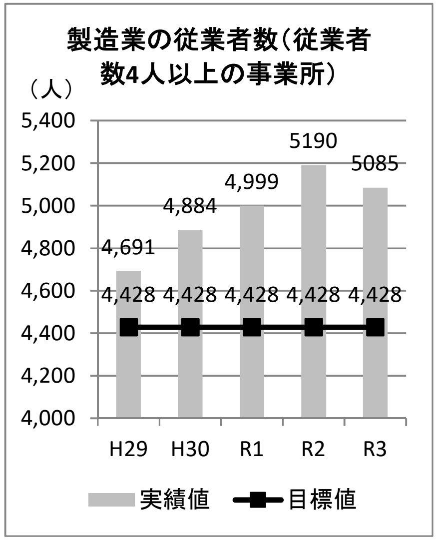
「播種」人材育成促進事業
決算額:2,541千円
➢コロナ禍においても、次世代を担う技術者及び技能者の育成を推進するため、対面型のみならずeラーニングによるオンライン研修についても費用の一部補助を行った。
【人材育成補助金交付人数】61人(R2)→158人(R3)

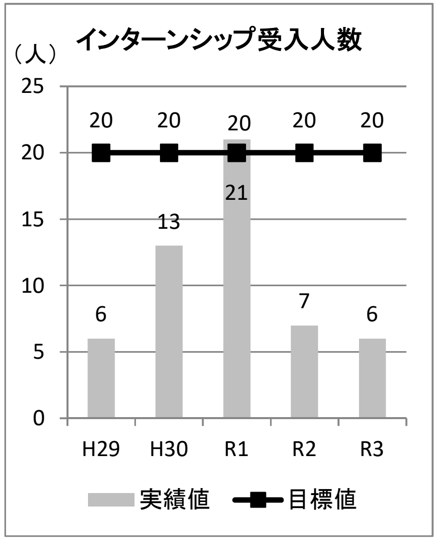
「播種」モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト　決算額:5,908千円
➢5市町村で連携し、ものづくり技術の高度化、航空宇宙・医療ヘルスケア機器分野の人材育成を支援した。
【新卒・第2新卒者等の地域内企業への就職者数】169人(R3)

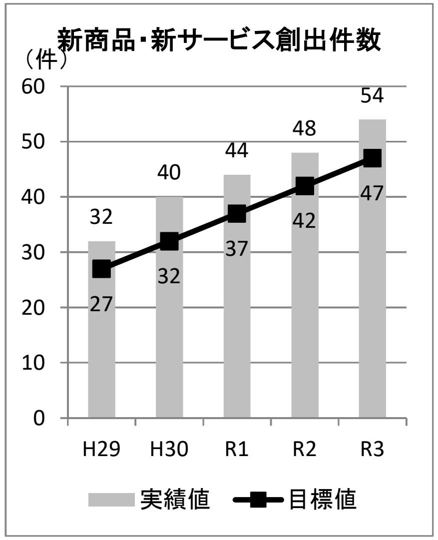
「開花」SUWAクリエイティブシティ化戦略事業
決算額:16,470千円
➢webサイトによるタイムリーな情報発信や周知を能動的に行ったことにより、効果的なPRを実施することができた。
➢産業連携事業補助金により、複数の産業分野による新製品・新サービスの開発を支援した。
【産業連携補助金交付実績】4件(R2)→5件(R3)

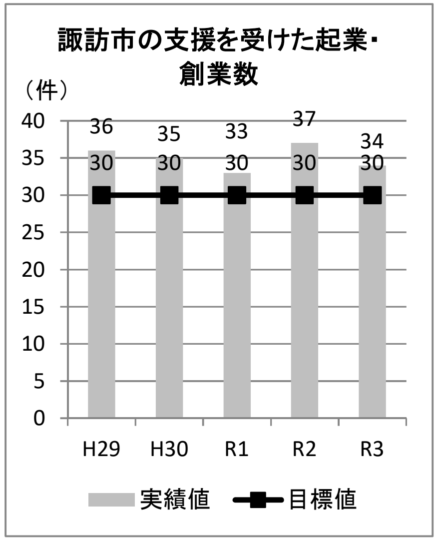
3 目標指標の進捗状況

№	指標名	項目	平成27年度 ※計画策定時	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	製造業の従業者数（従業者数4人以上の事業所）（人）	目標値		4,428	4,428	4,428	4,428	4,428
		実績値	4,428	4,691	4,884	4,999	5,190	5,085
		達成度		105.9%	110.3%	112.9%	117.2%	114.8%
	【目標値の設定根拠】現状の従業者数を維持 担当課: 商工課	達成状況の分析	工業統計調査の数値であるが、前年度を2%下回ったが、目標値を14.8%上回ることができた。					
2	インターンシップ受入人数（人/年度）	目標値		20	20	20	20	20
		実績値	10	6	13	21	7	6
		達成度		30.0%	65.0%	105.0%	35.0%	30.0%
	【目標値の設定根拠】平成29年度実績を上回る目標値を設定 担当課: 商工課	達成状況の分析	コロナ禍においてインターンシップの受入は困難であり、受入人数は低迷している。インターンシップにより、業務内容や職場環境を事前に知ることはミスマッチを防ぐ最善の方法と考える。今後も引き続きインターンシップの受入をしていただけるよう支援の継続を行っていく。					
3	新商品・新サービス創出件数（件）	目標値		27	32	37	42	47
		実績値	17	32	40	44	48	54
		達成度		118.5%	125.0%	118.9%	114.3%	114.9%
	【目標値の設定根拠】地方創生推進交付金実施計画に基づき設定 担当課: 産業連携推進室	達成状況の分析	産業連携事業補助金による地域企業連携により生み出された新商品・新サービス創出の実績値も目標値を大きく上回ることができた。					
4	諏訪市の支援を受けた起業・創業件数（件/年度）	目標値		30	30	30	30	30
		実績値	26	36	35	33	37	34
		達成度		120.0%	116.7%	110.0%	123.3%	113.3%
	【目標値の設定根拠】開業支援融資利用者32件/年度を維持 担当課: 商工課	達成状況の分析	開業支援資金の制度利用件数は34件（設備16件、運転18件）で目標値を上回った。融資制度の他、空店舗等活用補助制度や工場等立地促進助成制度、店舗等立地促進助成制度を広く周知し、起業・創業に向けた支援を実施する。					









4 今後の方向性

〇経営基盤の強化を図る上で、展示会に出展し販路拡大や受注開拓を行うことは重要である。展示会出展への支援を継続するとともに、高付加価値製品の創生を支援する新技術・新製品開発補助制度についても引き続き実施していく。
〇SUWAクリエイティブシティ化戦略については、これまでの取り組みを地域に浸透させ新たな広がりに結びつけるため、首都圏のクリエイター主導による事業から地元大学生や地元クリエイター、デザイナーによる支援事業とし、事業の再構築を図る。
〇企業支援による雇用安定化については、職場環境整備促進事業を通じて、働きやすい魅力的な職場環境づくりの支援を行う。また、令和4年度は、既卒者をターゲットにして企業の求人情報を専門の検索エンジンへ登録する支援を行う制度を設けた。今後も人材確保の推進に向け、様々な施策を行い雇用の促進を図っていく。
〇ものづくり人材の育成については、産学官連携によるセミナーやものづくり講座、インターンシップ等の支援により将来のものづくりを担う人材育成には引き続き注力し、優秀な技術者を育てる施策を継続的に実施していく。

令和3年度　SuWaMiRaI 諏訪未来プロジェクト　評価調書

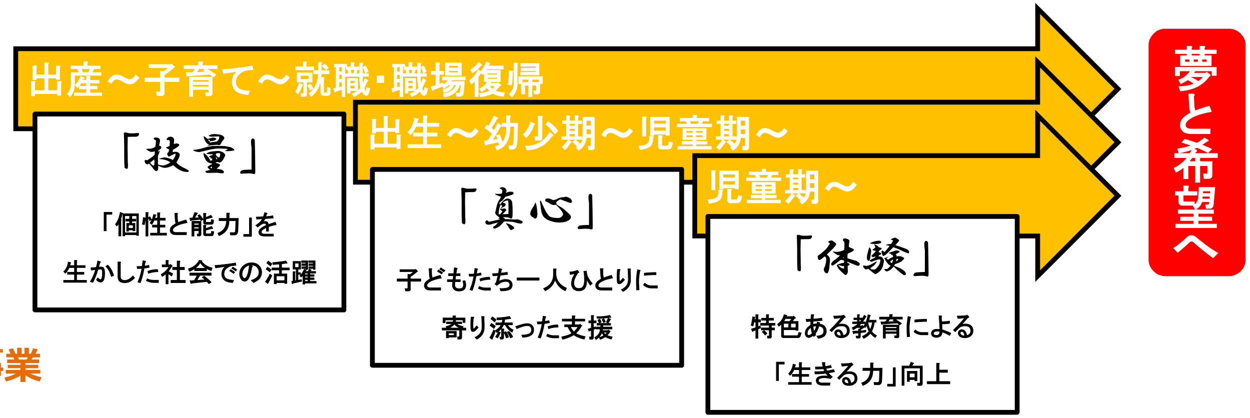
1　重点プロジェクト概要

<table>
<tr><td rowspan="9">重点
プロジェクト</td><td rowspan="9">W:若者　若者応援プロジェクト</td><td rowspan="9">連携課</td><td rowspan="9">地域戦略・男女共同参画課、
社会福祉課、子ども課、健康推進課、
商工課、教育総務課、生涯学習課、
スポーツ課</td><td rowspan="10">横断する施策</td><td>基本施策</td><td>基本施策</td></tr>
<tr><td>基本施策1【子育て支援】</td><td></td></tr>
<tr><td>基本施策5【社会保障制度】</td><td></td></tr>
<tr><td>基本施策6【健康づくり】</td><td></td></tr>
<tr><td>基本施策10【学校教育】</td><td></td></tr>
<tr><td>基本施策13【スポーツ振興】</td><td></td></tr>
<tr><td>基本施策14【歴史・文化】</td><td></td></tr>
<tr><td>基本施策22【工業】</td><td></td></tr>
<tr><td>基本施策29【雇用・創業】</td><td></td></tr>
<tr><td>目指す
まちの姿</td><td colspan="3">若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることで少子化対策に取り組むとともに、「ものづくり」教育をはじめとした特色ある教育により諏訪市の次代を担う人材を育成します。全ての子どもが夢と希望を持って成長することができる地域社会の実現を目指すとともに、若い世代に対する切れ目のない支援と元気に活躍できる場を用意することで、人口減少に立ち向かいます。</td><td>基本施策34【女性活躍】</td><td></td></tr>
</table>

2　主な成果

子どもの育ちを社会全体で支えるとともに、
個性や能力を最大限に生かすことができる環境整備

→ **夢と希望を持って成長・活躍できる社会の実現**



「技量」病児病後児保育事業
決算額:17,835千円
➢子育てと仕事の両立支援のため、病児病後児保育を実施。
【有効登録者数】954人(R2)→994人(R3)

「技量」放課後児童クラブ運営事業
決算額:79,542千円
➢児童が放課後や学校休業日に安心して過ごせる居場所として、市内6小学校区に10のクラブを運営。
➢令和3年度は中洲小学校児童クラブに専用棟を建設した。
【加入者数】586人(R3)

「真心」子どもの学習・生活支援事業
決算額:1,061千円
➢関係課が連携し、困難を有する子どもへの学力の維持・向上や生活習慣、社会性の習得に向けた支援を実施。
【学習支援協力員の年間活動回数】539回(R2)→705回(R3)

「真心」子ども家庭総合支援拠点事業
決算額:2,591千円
➢子ども家庭総合支援拠点「すわ☆あゆみステーション」を運営した。
➢2課3係で課をまたいで一体的に動ける人員体制として、12職種24名(兼務あり実数22名)を配備し、安心して子育てができる環境を更に強化した。
【あゆステの広報掲載回数】14回(R3)

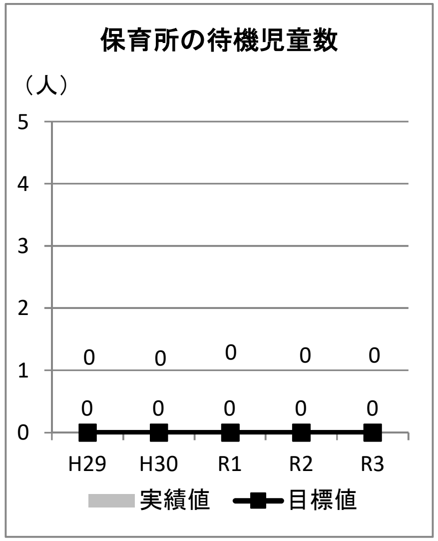
「真心」発達支援事業
決算額:13,905千円
➢コロナ禍においても実施可能な研修啓発を通じて切れ目のない保護者支援を継続した。
➢各課が実施している発達支援に関する施策を有機的につなぎ、支援体制を強化している。
【親支援プログラム参加者数】21人(R3)

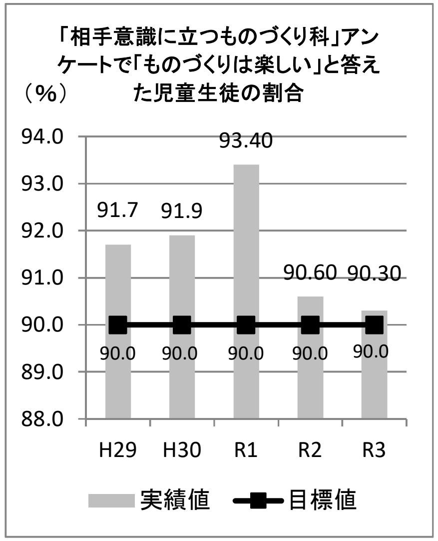
「体験」スポーツ教室等開催事業
決算額:11,924千円
➢市主催・共催教室については、市民の参加状況やアンケート結果をもとにメニューの見直しを行い、市民のニーズに合った教室運営を実施した。
【主催・共催教室の延参加人数】
1,981人(R2)→2,351人(R3)

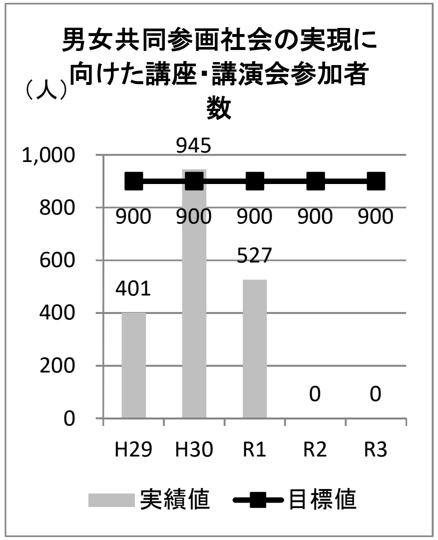
「体験」ものづくり教育奨励・理科振興事業
決算額:5,085千円
➢学校や地域企業と連携し、小中学校における地域密着型のものづくり教育の充実を図った。ものづくり教育を通して、諏訪キャリア教育を展開するとともに子どもたちの郷土愛を育んだ。
【ものづくり科児童生徒アンケート「授業は楽しいか？」】
90.3%(R3)※目標値90%

3 目標指標の進捗状況

№	指標名	項目	平成27年度 ※計画策定時	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	保育所の待機児童数 （人）	目標値		0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0	0	0
		達成度		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	【目標値の設定根拠】 待機児童ゼロを堅持 担当課：　こども課	達成状況の分析	指標を踏まえて、短期的には「子ども・子育て支援事業計画」に基づく『確保の方策』、中長期的には保育所“笑顔プラン”に基づく『保育最適化の推進』により持続可能な保育環境整備を推進し、総合的な対策を講じていく。					
2	「相手意識に立つものづくり科」アンケートで「ものづくりは楽しい」と答えた児童生徒の割合 （%）	目標値		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
		実績値	89.9	91.7	91.9	93.4	90.6	90.3
		達成度		101.9%	102.1%	103.8%	100.7%	100.3%
	【目標値の設定根拠】 現状の回答割合を維持 担当課：　教育総務課	達成状況の分析	調査対象の学年は毎年変わっていくものの「相手意識に立つものづくり科」授業を受けた児童生徒のアンケートにおいて「ものづくりは楽しい」と答えた割合が例年高い割合で推移しており、継続して児童生徒の意識醸成が図られている。令和3年度はコロナ禍により活動に一部制限があったものの、実施したものに対する評価は高い。					
3	男女共同参画社会の実現に向けた講座・講演会参加者数 （人）	目標値		900	900	900	900	900
		実績値	992	401	945	527	0	0
		達成度		44.6%	105.0%	58.6%	0.0%	0.0%
	【目標値の設定根拠】 団体との協働により目標値の達成を目指す 担当課：　地域戦略・男女共同参画課	達成状況の分析	開催する予定だった市民大会（映画上映会）をはじめ、サポート講座やセミナーなど人を集める催し物は、新型コロナの感染を考慮し、昨年度に引き続きすべて中止となった。					







4 今後の方向性

○事業計画に基づき子育てしやすい環境や条件整備を進める。
○少子化や子どもを取り巻く環境の変化に合わせ各施設の特長を生かした運営に努める。「すわっチャオ」を含め各種施設・設備の特長が互いに生かされるよう、市全体として子育て環境の充実を図り連携を推進する。
○病児病後児保育は、保護者の仕事と子育ての両立を図るため継続実施する。
○働き方の見直しが進められる中、保護者ニーズに対応したサービス量の確保のため、各施策の利用傾向や課題を踏まえて環境整備を進めていく。
○子育て支援等を内包した持続可能な開発目標であるSDGsの認定取得のため、企業に対し、セミナー等を開催し啓発及び取得支援を進める。
○スポーツ教室等については、保育園児から小学生までのそれぞれの発達段階に応じた子ども向け教室を、保護者のニーズを把握した上で専門家の意見も参考にしながら、より効果的な教室につながるよう見直し、拡充を進めていく。
○ものづくりの精神を生かした「諏訪版キャリア教育」の推進とともにふるさと諏訪を愛し郷土の姿を誇りに思い、広く世界を視野に生涯にわたって学び続ける素地をつくるための「諏訪版ふるさと学習」を引き続き推進する。

令和3年度　SuWaMiRaI 諏訪未来プロジェクト　評価調書

1　重点プロジェクト概要

重点プロジェクト	M:魅力　魅力発信プロジェクト	連携課	地域戦略・男女共同参画課、商工課、観光課、農林課、環境課、こども課、健康推進課、教育総務課、生涯学習課、水道局
目指すまちの姿	諏訪市の恵まれた地域資源やポテンシャルを再認識し、これらから生まれる価値を改めて見直すとともに、「シティプロモーション」の推進により、市内外に諏訪市の様々な魅力を発信することで、地域住民の「誇り」や郷土愛の醸成、市外における認知度・知名度アップを図ります。		

横断する施策	基本施策	基本施策
	基本施策1【子育て支援】	基本施策16【温泉】
	基本施策6【健康づくり】	基本施策20【公共交通】
	基本施策7【地域医療】	基本施策22【工業】
	基本施策8【環境保全】	基本施策24【観光】
	基本施策9【再生可能エネルギー】	基本施策28【林業】
	基本施策11【地域教育】	基本施策29【雇用・創業】
	基本施策12【生涯学習】	基本施策33【移住交流】
	基本施策14【歴史・文化】	基本施策38【広報広聴】
	基本施策15【上水道・下水道】	

2　主な成果

諏訪市の地域資源やポテンシャルの再認識
「シティプロモーション」による様々な魅力発信

→

地域住民の誇りと郷土愛の醸成・
他地域との差別化や競争力強化

「特別」移住交流促進事業

決算額:2,387千円

➢コロナ禍においても東京都や名古屋市で開催された移住イベントに参加した。
➢オンラインを活用した移住相談会にも参加し、30人以上の方に諏訪市の魅力を伝えた。
【セミナー等での相談者数】121人(R2)→161人(R3)

「故郷」信州型コミュニティスクール創造事業

決算額:3,968千円

➢読み聞かせや資源物回収、消毒ボランティアなど活動の形や内容を工夫しながら活動を続け、学校を中心とした地域の協働体制を継続した。
【学校支援活動時間】　1,656時間(R3)

「特別」ふるさと寄附金事業

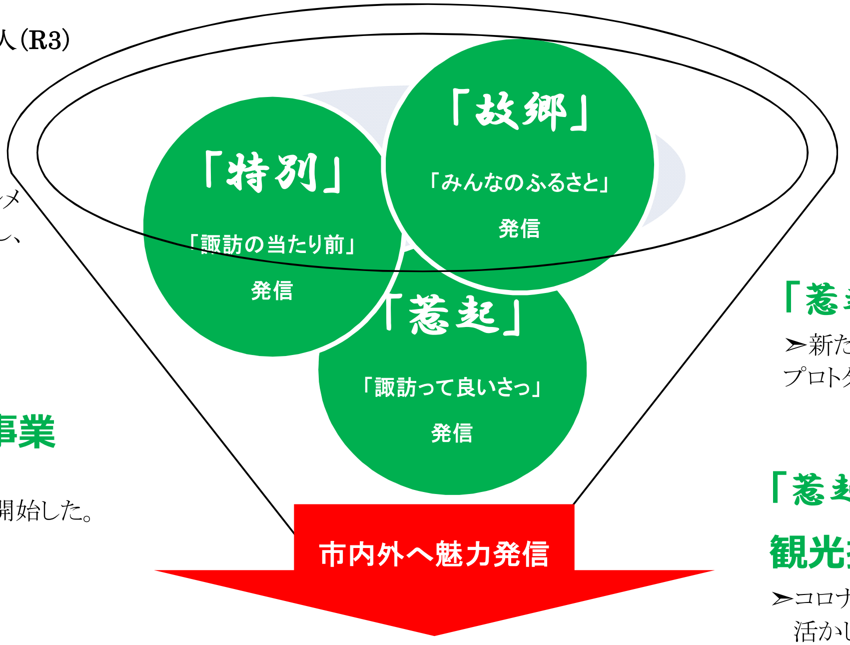
決算額:151,774千円

➢霧ヶ峰ナイトトレッキングツアーや諏訪湖周グルメサイクリングツアーなど体験型の返礼品を拡充し、目標額の1億円を達成することができた。
【寄附件数】2,024件(R3)
【寄附金額】110,592千円(R3)

「特別」シティプロモーション推進事業

決算額:284千円

➢市PR用のロゴマーク・キャッチコピーの活用を開始した。
➢市公式LINEアカウントを開設した。
【市公式facebookのフォロワー数】
655件(R2)→921件(R3)



「故郷」すわ大昔情報センター運営事業

決算額:4,816千円

➢市博物館内で諏訪にゆかりの考古・歴史学者の貴重な資料が閲覧できる「すわ大昔情報センター」を運営。
➢オンラインフォーラム「御柱と諏訪信仰」を全10回で開催し、令和3年度末の閲覧数は22,025回であった。
【おおむかし何でも相談室参加者数】22人(R3)

「惹起」観光宣伝事業

決算額:181,353千円

➢新たな観光PRツールであるVRによる観光コンテンツのプロトタイプを構築することができた。

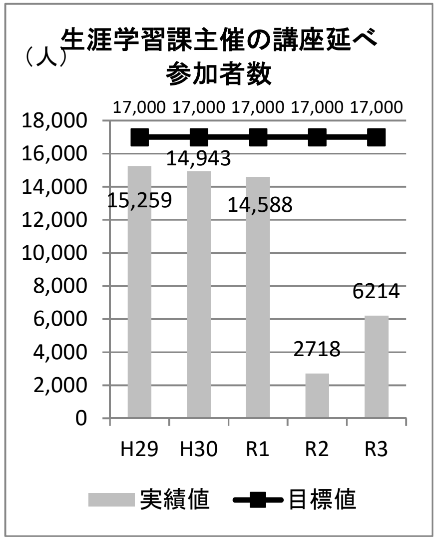
「惹起」地域おこし協力隊の活用による観光振興事業

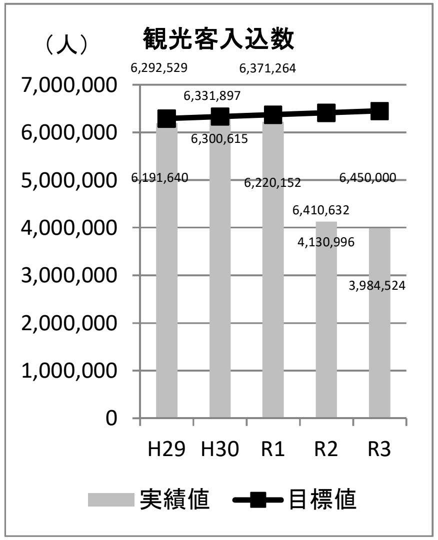
決算額:2,962千円

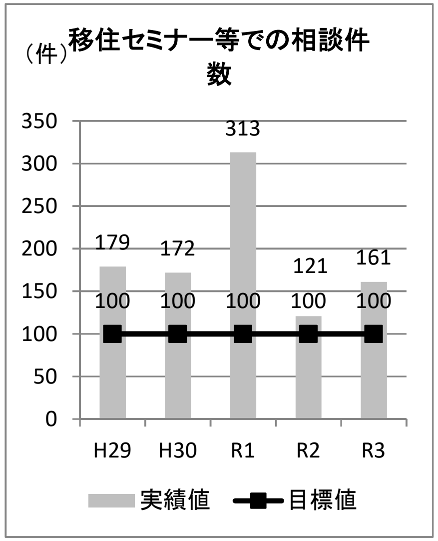
➢コロナ禍においても、新たなツアー商品の開発など隊員の能力を活かした事業を展開している。
【諏訪市観光案内所訪日外国人観光客来訪者数】92人(R3)

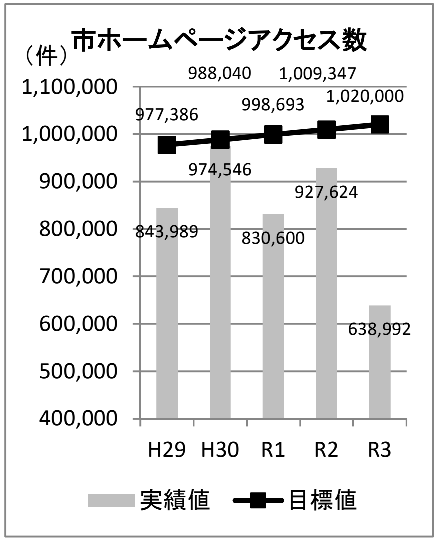
3 目標指標の進捗状況

№	指標名	項目	平成27年度 ※計画策定時	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	生涯学習課主催の講座延べ参加者数 (人)	目標値		17,000	17,000	17,000	17,000	17,000
		実績値	17,010	15,259	14,943	14,588	2,718	6,214
		達成度		89.8%	87.9%	85.8%	16.0%	36.6%
	【目標値の設定根拠】 企画内容を工夫し、総合戦略の目標値を上回る目標を設定 担当課: 生涯学習課	達成状況の分析	施設の臨時休館や前期の自主事業自粛により、開催回数が減少し、それに伴い参加者数が減少するが、コロナ禍でも実施できる工夫をしながら学習機会の提供に努めた。					
2	観光客入込数 (人)	目標値		6,292,529	6,331,897	6,371,264	6,410,632	6,450,000
		実績値	6,213,793	6,191,640	6,300,615	6,220,152	4,130,996	3,984,524
		達成度		98.4%	99.5%	97.6%	64.4%	61.8%
	【目標値の設定根拠】 総合戦略目標値の伸び率を勘案して設定 担当課: 観光課	達成状況の分析	令和3年の諏訪市の観光客数は、新型コロナウイルス感染症拡大や首都圏等への緊急事態宣言、長野県におけるまん延防止等重点措置発令等の影響により、目標値を大きく下回った。					
3	移住セミナー等での相談件数 (件/年度)	目標値		100	100	100	100	100
		実績値	139	179	172	313	121	161
		達成度		179.0%	172.0%	313.0%	121.0%	161.0%
	【目標値の設定根拠】 総合戦略の目標値に基づき設定 担当課: 地域戦略・男女共同参画課	達成状況の分析	諏訪圏6市町村で連携し、東京や名古屋で開催された対面形式の移住イベントに参加するなど、移住希望者と会う機会ができたことにより、相談件数が増加した。					
4	市ホームページアクセス数 (件)	目標値		977,386	988,040	998,693	1,009,347	1,020,000
		実績値	956,079	843,989	974,546	830,600	927,624	638,992
		達成度		86.4%	98.6%	83.2%	91.9%	62.6%
	【目標値の設定根拠】 過去5年間の実績に基づき目標値を設定 担当課: 企画政策課	達成状況の分析	令和3年度に実施したホームページの更改によりアクセス数のカウントの手法が変更となったため、目標値及び前年度実績からも大きく数値が下がったが、実質のアクセス数は大きく減少していない。					









4 今後の方向性

〇シティプロモーションについては、当市の魅力をより積極的に発信するため、SNSの効果的な発信方法を研究する。市PR用ロゴマーク・キャッチコピーは、本市の多彩な魅力を統一的に発信するツールとして、活用を推進する。
〇ふるさと寄附については、既存の返礼品の見直しを常に行うとともに、ポータルサイトの拡充についての検討を進め、情報発信の幅を広めることができるか可能性を探る。また、クラウドファンディングの実施については担当課との連携をし、市の財源確保に努める。
〇移住交流については、首都圏等で開催される、各種移住イベントへ庁内関係課で連携し積極的に参加し、継続したシティプロモーションを展開する。また、移住体験住宅に変え、おためしナガノを通じた移住希望者を募り、移住体験を実施する。
〇観光客の受け入れについては、令和4年度は、3年度に策定した諏訪市観光グランドデザインの実現に向け、観光関係団体等と連携しながら、「稼ぐ」観光地として誘客を推し進めていく。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることが想定されるため、感染状況に注視しながら、柔軟な受け入れ体制を構築していく必要がある。

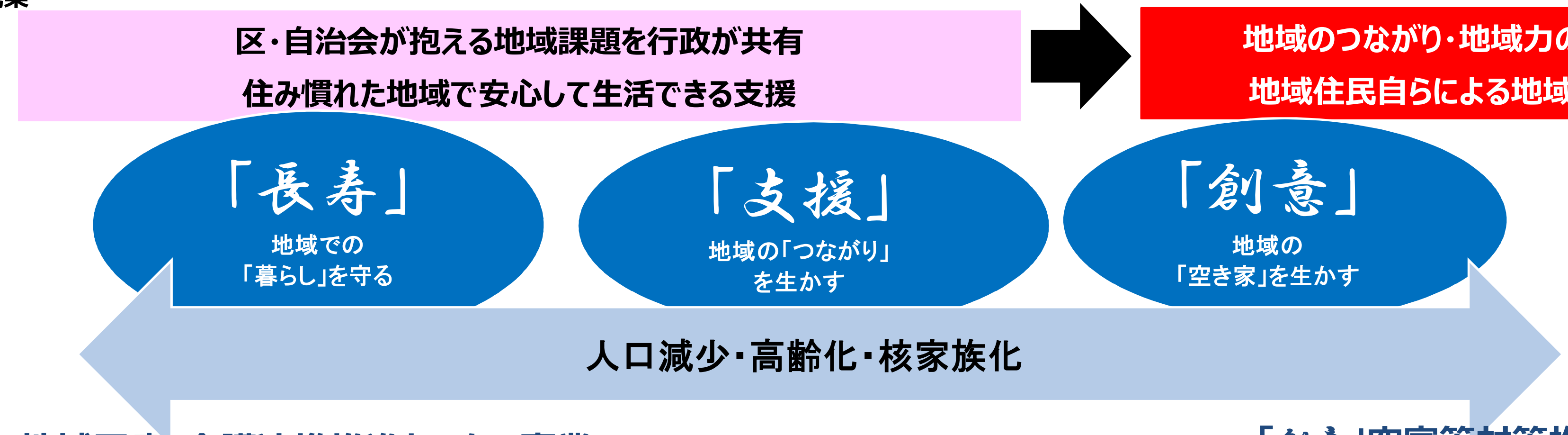
令和3年度　SuWaMiRaI 諏訪未来プロジェクト　評価調書

1　重点プロジェクト概要

重点プロジェクト	R:連携　地域連携プロジェクト	連携課	地域戦略・男女共同参画課、環境課、社会福祉課、高齢者福祉課、健康推進課、商工課、都市計画課、危機管理室、消防庶務課、スポーツ課
目指すまちの姿	人口減少や少子高齢化、核家族化などの進展により、コミュニティ意識が希薄となっています。地域の連携により生まれる紐帯を、防災や子ども・高齢者の見守り、環境美化など、地域住民による活動へと改めてつなげるため、地域力の向上を図り住民自らによる地域づくりを支えます。		

横断する施策	基本施策	基本施策
	基本施策2【地域福祉】	基本施策25【商業・流通】
	基本施策3【障がい者福祉】	基本施策29【雇用・創業】
	基本施策4【高齢者福祉】	基本施策30【防災・消防】
	基本施策6【健康づくり】	基本施策31【防火・防犯・消費生活】
	基本施策7【地域医療】	基本施策32【コミュニティ】
	基本施策13【スポーツ振興】	基本施策33【移住交流】
	基本施策17【環境衛生】	
	基本施策20【公共交通】	
	基本施策21【都市空間】	

2　主な成果



「長寿」地域医療・介護連携推進センター事業

決算額:29,843千円

➢高齢者福祉課や健康推進課等が連携し、市医師会、諏訪赤十字病院、市社会福祉協議会と地域医療・介護連携推進センター(ライフドアすわ)を運営し、高齢者の在宅医療・介護連携、生活支援体制整備、認知症施策推進、地域ケア会議推進を包括的に実施した。

【認知症初期集中支援チーム介入件数】1件(R3)

【各種研修・セミナー参加者数】452人(R3)

「長寿」介護予防・日常生活支援総合事業

決算額:53,019千円

➢自宅での介護予防の取組を支援する講座や動画を作成し、配信することでコロナ禍におけるフレイル予防の周知を行った。

➢高齢者本人の希望や状況に基づきケアプランを作成し、自立支援を行った。

【ケアプラン作成件数】4,119件(R2)→5,910件(R3)

「支援」区・自治会支援事業

決算額:8,010千円

➢協働のまちづくりを推進するため、区長会議等を開催し、区と行政との対話を重ねた。

➢区や自治会が主体的に行う課題解決のための取組を支援し、地域力の向上を図った。

【がんばる地域支援金による取組事業件数】3件(R3)

「支援」自主防災組織防災資機材整備事業

決算額:3,967千円

➢自主防災組織による共助としての支援活動に不可欠な自前の防災資機材の整備のための補助を行った。

【防災資機材の整備】24地区(R2)→32地区(R3)

「創意」空家等対策推進事業

決算額:2,059千円

➢ 空家跡地利用支援事業補助金により、空家の解体工事推進を図った(補助金実績9件)。

➢統合型GISの活用により、効率的なデータの活用・各課との共有を図った。

【危険空家等の改善件数】1件(R3)

「創意」空き家バンク運営事業

決算額:348千円

➢「空き家バンク」を運営し、所有者と利用希望者とのマッチングを支援した。また、バンクに空地を追加したことでより多くの物件を掲載することができた。

【登録物件件数】120件(R2)→241件(R3)

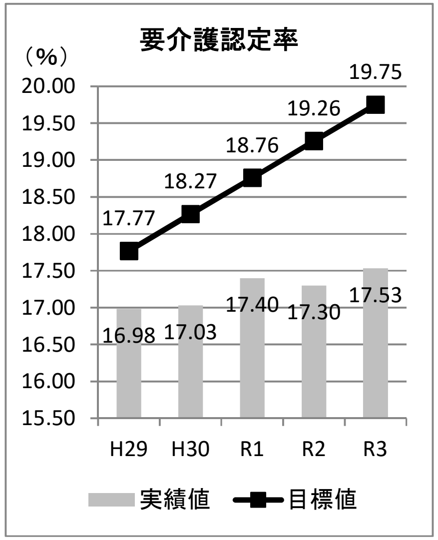
➢空き家バンク登録物件の不動産仲介料の一部を補助した。

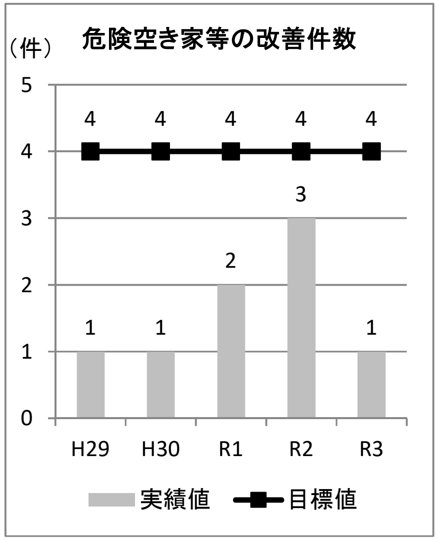
【仲介手数料補助金申請件数】

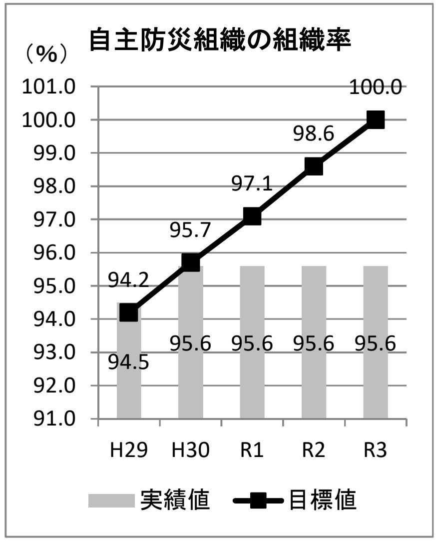
2件(R3)

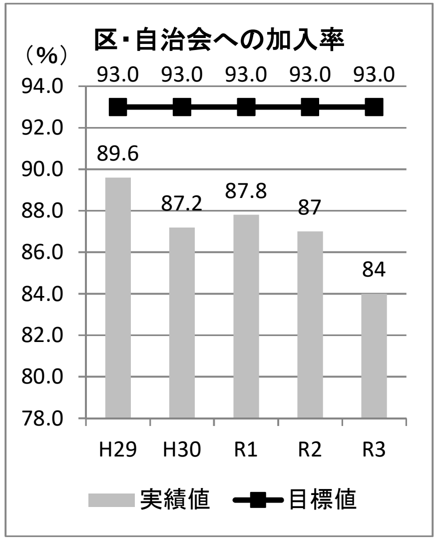
3 目標指標の進捗状況

№	指標名	項目	平成27年度 ※計画策定時	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	要介護認定率 (%)	目標値		17.77	18.27	18.76	19.26	19.75
		実績値	16.78	16.98	17.03	17.40	17.30	17.53
		達成度		104.4%	106.8%	107.2%	110.2%	111.2%
	【目標値の設定根拠】 諏訪広域連合「第6期介護保険事業計画」をもとに認定率抑制を目指す 担当課: 高齢者福祉課	達成状況の分析	各種介護予防教室は、コロナの感染拡大時には中止となることが多く、高齢者のフレイルの進行が懸念される。自宅でできる体操等の動画配信やテレビ放映、チラシ配布等を行っているが、要支援認定者が増加してきている。これ以上の認定率の増加を防ぐため新たな介護予防の取組みが必要。					
2	危険空き家等の改善件数 (件/5年間)	目標値		4	4	4	4	4
		実績値	0	1	1	2	3	1
		達成度		25.0%	25.0%	50.0%	75.0%	25.0%
	【目標値の設定根拠】 4件/年度の改善を目指す 担当課: 都市計画課	達成状況の分析	本指標及び目標値は空家等対策計画に盛り込んでいる。空家管理については所有者に対し啓発活動を行うなど推進を図っている。またR2年度より空家跡地活用支援事業補助金を創設し実績をあげている。					
3	自主防災組織の組織率 (%)	目標値		94.2	95.7	97.1	98.6	100.0
		実績値	91.3	94.5	95.6	95.6	95.6	95.6
		達成度		100.3%	99.9%	98.5%	97.0%	95.6%
	【目標値の設定根拠】 総合戦略の目標値に基づき設定 担当課: 危機管理室	達成状況の分析	自主防災組織は、市内91地区のうち87地区で組織されており、組織率は95.6%であった。 組織されていない地区は、区としての組織がなかったり、山間地で世帯及び区民数が少ない等の事情があり、自主防災組織の組織化が困難な地区であるため、現状組織化が可能な地区に関してはほぼ完了している。					
4	区・自治会への加入率 (%)	目標値		93.0	93.0	93.0	93.0	93.0
		実績値	92.6	89.6	87.2	87.8	87.0	84.0
		達成度		96.3%	93.8%	94.4%	96.7%	90.3%
	【目標値の設定根拠】 現状の水準を維持 担当課: 地域戦略・男女共同参画課	達成状況の分析	平成29年度に宅建協会諏訪支部、自治会及び市による「区・自治会への加入促進に関する協定」を締結し、関係機関と連携した取り組みにより加入促進を図っている。区・自治会への加入率の減少は全国的な課題であるが、今後も継続して加入促進に努めていきたい。					









4 今後の方向性

○介護予防の推進については、感染警戒レベルに左右されずに開催できるよう、参加時の健康チェックやワクチン接種状況等の確認を徹底し、教室中止によるフレイル進行や高齢者の閉じこもりのリスクを回避する。ケーブルテレビの活用、参集型以外の教室の企画等、感染拡大時でも高齢者が取り組める介護予防の構築を進める。
○空き家対策については、「諏訪市空家等対策計画」に基づいて対策を関係課と連携して推進していく。また、空家跡地活用支援事業補助金の制度改善、空家マッチングサービスなどの新たな施策を推進する。空き家バンクに関しては、移住者の希望する物件条件に合うよう、空き家を主に管理している、宅建協会加盟の不動産業者に対し、積極的な物件のバンク登録を推進すると共に、空き地情報を併せて掲載することで、移住関連情報の充実を図る。
○駅前地域を対象とした「個別区長懇談」を継続し、地域課題の共有を図り、将来を見据えた持続可能な地域のあり方を、区・自治会と行政が共に考えていく場を広げていく。
○地域防災に関しては、防災資機材整備費補助事業は自主防災組織の計画的な資機材の購入に役立っている。R3年度は7年ぶりのマルチハザードマップ更新や、広報すわ特集記事の掲載、地区回覧板により市民の防災意識の向上に努め、R4もマルチハザードマップの地区説明会等により地域防災力の向上に努める。

令和3年度　SuWaMiRaI 諏訪未来プロジェクト　評価調書

1　重点プロジェクト概要

重点プロジェクト	I:一新　一新再生プロジェクト	連携課	危機管理室、財政課、環境課、社会福祉課、こども課、商工課、建設課、都市計画課、水道局、教育総務課、生涯学習課、スポーツ課
目指すまちの姿	老朽化した公共施設の適切な管理や統廃合のため、「諏訪市公共施設等総合管理計画」に基づき、ファシリティマネジメントにより公共施設の維持・再生を図るだけでなく、市有財産の有効活用のため、公共施設それぞれのあり方を検討し、不要な財産の除却・処分を進めるとともに、これまでの考え方にとらわれることなく、既存施設の新たな活用方策を見出します。		

横断する施策

基本施策	基本施策
基本施策1【子育て支援】	基本施策18【道路整備・交通安全】
基本施策2【地域福祉】	基本施策19【交通体系】
基本施策3【障がい者福祉】	基本施策21【都市空間】
基本施策9【再生可能エネルギー】	基本施策22【工業】
基本施策10【学校教育】	基本施策25【商業・流通】
基本施策12【生涯学習】	基本施策26【中心市街地】
基本施策13【スポーツ振興】	基本施策30【防災・消防】
基本施策14【歴史・文化】	基本施策37【財政・税務】
基本施策15【上水道・下水道】	

2　主な成果

「ファシリティマネジメント」による公共施設の維持・再生
既存施設の新たな活用方策の検討

→

市有財産の有効活用・
「時間軸」を意識した駅周辺市街地のビジョン検討

「再編」未来創造ゆめスクールプラン　決算額:9,154千円

➢学校再編推進委員会を設置し、学校関係者や保護者、保育園の保護者等の意見を取り入れて、城北小と高島小を統合した上諏訪小学校の開校に必要な各種の検討課題を解決し、新校を開校した。

「強化」体育館施設管理事業（元町体育館アリーナ壁舗装改修事業等）　決算額:18,941千円

➢利用者が安全に利便性良く施設を利用し、健康増進を図り、スポーツに親しめるように、計画的な施設の維持・改修の一環として、アリーナ壁塗装改修工事を実施した。

「強化」道路舗装新設修繕事業

決算額:89,349千円

➢舗装長寿命化修繕計画に基づき、交付金や地方債を活用して市道の新設舗装及び舗装修繕、側溝や縁石などの修繕工事を実施した。

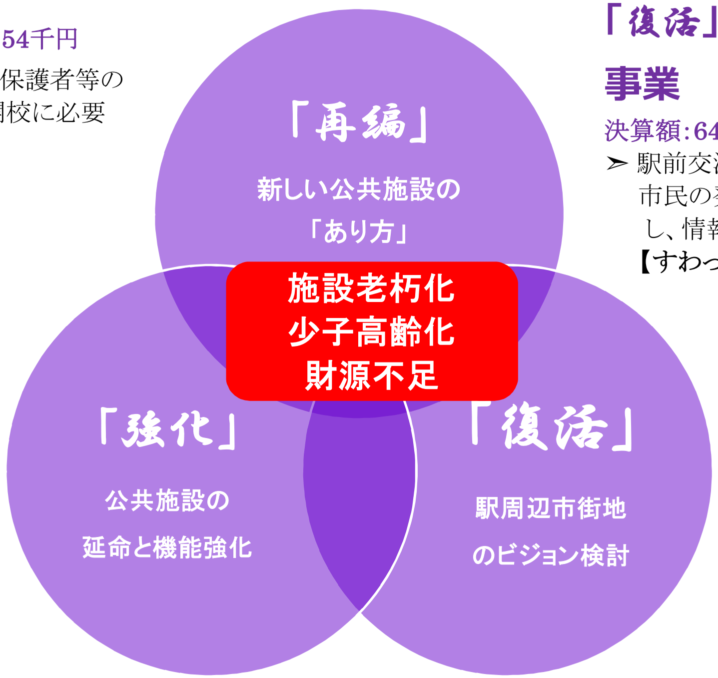
【舗装修繕工事面積】10,560㎡(R3)

「強化」橋梁長寿命化事業

決算額:118,985千円

➢橋梁長寿命化修繕計画に沿って、損傷が著しい橋から交付金や有利な起債を活用し、修繕及び更新を行った。

➢防災安全交付金を活用し、劣化が激しい衣ヶ崎橋、湖岸中門橋等の架替工事を実施した。



「強化」配水管耐震化・更新事業

決算額:223,384千円

➢安心安全な水の安定供給、災害対策としての強靭化を 図るため、水道事業ビジョンに沿って、水道管の計画的な布設替えによる耐震化を実施。

➢道路管理者との協議を行い、円滑に工事を実施した。

【配水管耐震化率】28.5%(R3)

「復活」駅前交流テラスすわっチャオ管理運営事業

決算額:64,532千円

➢ 駅前交流テラス「すわっチャオ」において、コロナ禍で失われた市民の発表の機会を創出するため、オンライン配信機材を活用し、情報発信の拠点としての取組を推進した。

【すわっチャオ入館者数】114.874人(R2)→126,070人(R3)

「復活」諏訪湖イベントひろば利活用検討事業　決算額:5,839千円

➢諏訪湖イベントひろばの活用に向け、専門委員会で議論やパブリックコメントを経て、基本計画を策定した。

【専門委員会開催回数】2回(R3)

「強化」下水道総合地震対策事業

決算額:66,330千円

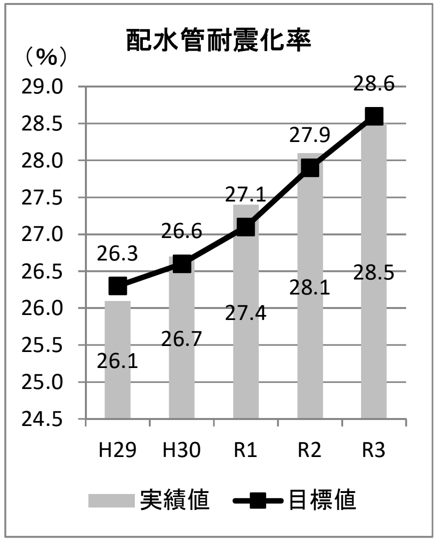
➢管口可とう化(下水道管の耐震化)等を行うことで耐震化対象の下水道管渠の耐震化を進めた。

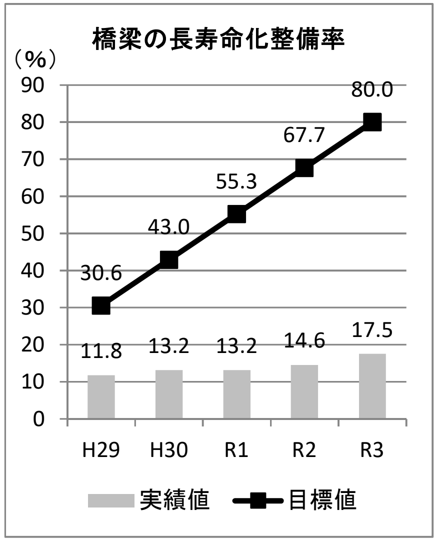
【管口可とう化】9箇所(R2)→52箇所(R3)

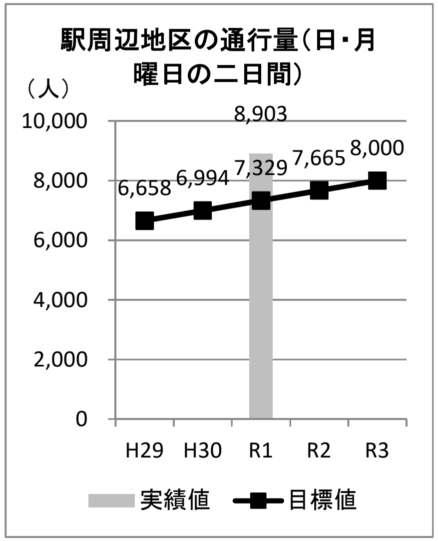
【耐震化対象下水道管渠耐震化率→60.1%(R3)

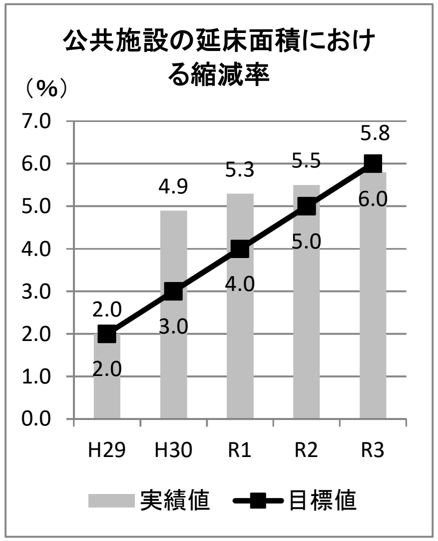
3 目標指標の進捗状況

№	指標名	項目	平成27年度 ※計画策定時	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	配水管耐震化率 (%) 【目標値の設定根拠】 0.5%/年度の増加を目指す 担当課: 営業課、施設課	目標値		26.3	26.6	27.1	27.9	28.6
		実績値	25.1	26.1	26.7	27.4	28.1	28.5
		達成度		99.2%	100.4%	101.1%	100.7%	99.7%
		達成状況の分析	管路総延長が長大であることから、配水管の耐震化については「諏訪市水道事業ビジョン」等に定める長期更新計画に基づいて布設替えを進めており、目標値に近い実績値となっている。					
2	橋梁の長寿命化整備率 (%) 【目標値の設定根拠】 橋梁長寿命化修繕計画(令和5年度までに68橋を修繕)に基づき設定 担当課: 建設課	目標値		30.6	43.0	55.3	67.7	80.0
		実績値	5.9	11.8	13.2	13.2	14.6	17.5
		達成度		38.6%	30.7%	23.9%	21.6%	21.9%
		達成状況の分析	緊急時の避難路や主要路線に架かる重要な橋梁68橋の修繕計画を策定し、適切な維持管理を計画した上で、財政的な状況を考慮し、限られた財源の中で最大限の修繕工事を実施した。					
3	駅周辺地区の通行量(日・月曜日の二日間) (人) 【目標値の設定根拠】 駅前の大規模店舗が閉店する以前の水準を目指す 担当課: 商工課	目標値		6,658	6,994	7,329	7,665	8,000
		実績値	5,987	未調査	未調査	8,903	未調査	未調査
		達成度		未調査	未調査	121.5%	未調査	未調査
		達成状況の分析	※未調査の理由 当該調査は原則として5年に一度を目安として実施しているものであり、駅周辺の大きな変化があった場合には随時実施することとなっているため。					
4	公共施設の総延床面積における縮減率 (%) 【目標値の設定根拠】 公共施設等総合管理計画(令和8年度までに10%縮減)に基づき設定 担当課: 企画政策課	目標値		2.0	3.0	4.0	5.0	6.0
		実績値	0.0	2.0	4.9	5.3	5.5	5.8
		達成度		100.0%	163.3%	132.5%	110.0%	96.7%
		達成状況の分析	令和3年度は目標値には達しなかったが、前年度に引き続き教員住宅や市営住宅などの除却を行い、計画策定時より△13,359㎡(△5.8%)となるなど、概ね計画どおりに延べ床面積の縮減が行われた。					









4 今後の方向性

○未来創造ゆめスクールプランについては、基本計画に掲げた将来的に市内を3つのブロックに分け3つの小中一貫教育学校に再編することを目指し、令和5年度から全校で取り組む中学校区ごとの一貫教育に向けたソフト面の検討・実践と、ハード面の重点地区とした南部地区の検討を進める。
○道路については、今後も、地元区などの理解を得ながら投資効果を考え進めていきたい。また、主要道路の舗装については舗装長寿命化修繕計画に則った予防保全型の手法により計画的に行っていく。橋梁についても、橋梁長寿命化修繕計画の見直しを行う中で、架け替えや修繕には多額の費用がかかり財政的に対応が間に合わないことが考えられるため、通行規制などの対応も視野に今後対策を考える必要がある。
○上下水道に関しては、「水道事業ビジョン」及び「下水道ストックマネジメント計画」に基づく施設・管路整備・調査を計画的に進めていく。
○諏訪湖イベントひろばについては、令和3年度に策定した基本計画を基に、事業者に現状のひろばを「試行活用」してもらい、事業対象地のポテンシャルや実状を探ってもらうとともに、市においても新たな可能性を探る期間として、具体的な活用の検討を行う。